

3月号 みのわ町地域おこし
協力隊新聞

上伊那 協力隊交流会 行ってきました!



2月末に、上伊那地域の地域おこし協力隊の交流会があり、箕輪町は3人揃って参加。開催地飯島町に行ってきました。

集まったのは、昨年から協力隊の制度を導入している上伊那郡の4自治体、伊那市・中川村・飯島町・箕輪町の4市町村から10名です。経歴も年齢も、出身も、現在の活動内容も全く違うメンバーです。

今回は飯島町の隊員が中心になり、町内の視察と、そば打ちの会による体験交流を準備して下さいました。それぞれの活動内容を報告しあったり、上伊那で何か企画できないか意見交換したり、移住してきたの感想を話し合ったり……。話は尽きず、有意義で刺激たっぷりの時間を過ごしてきました。

とにかく皆、共通していたのは、町の皆さんとの時間を大切にし、町の方の要望、意見を拾い上げ、自身の活動に繋げていること。そして前向きな姿勢！！！私たちも、自分達らしさを大切にしながら、箕輪町に溶け込んで、より精力的に活動していくことを改めて思われた1日でした！！

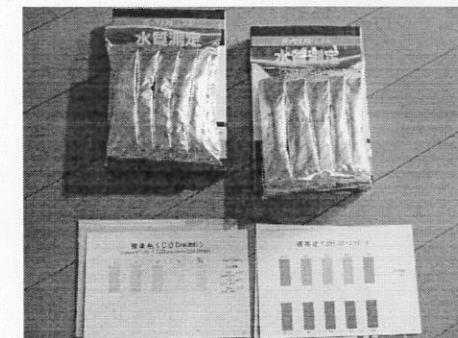
橋本隊員2月の活動

～ホタル生息地を観察に行きました！～



2月10日に、水辺公園を見守る会の方々と、田畠にあるホタルの生息地へ観察に行ってきました。

きれいな水の流れで、水苔もあり、餌となるカワニナもたくさん生息していました。松島の清水の径も同じような環境なので、数年計画でホタルが舞うようになると思います。



環境が同じでも、水質が違うとホタルも住めないので、水質調査も行うことになりました。写真の試薬を使います。ホタルの好む水質は、水温 2.0～28.0°C。pH（酸性かアルカリ性か）が、6.5～8.3と中性を好み、COD（科学的酸素要求量）、水中にいる生き物が酸化や分解されるときに消費される酸素のことで、水の汚れ具合を測定します。ホタルは COD が、0.5～3.4と、かなりきれいな水を好んでいます。

3月から、月1回調査しますが、さてさて、どんな結果が出るか楽しみです。その結果は、またご報告します！

～新しい野菜との出会い～

2月は、ワサビ田を見せてもらいました。きれいな湧き水が豊富に湧き出でていて、サワガニも石の下などで、越冬中でした。ワサビの葉を少しいただき、お浸しの作り方も教わり早速実践！ワサビの風味と辛さが出て、美味しいいただきました！3月はどんな野菜に出会えるかワクワクしています！何かご紹介ください！



関 口 隊 員 2月 の 活 動

～春はそこまで！農家さん回り再開中～

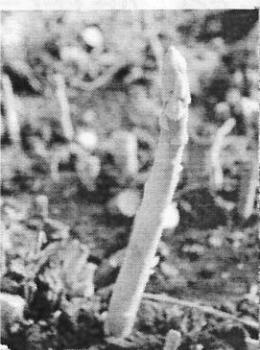
寒さもようやく和らいできた今日この頃。こんなに春が待ち遠しいと思うのは、箕輪に引っ越してきてからでしょう。福寿草やスノードロップなど、早春の花が咲いたり、直売所で見つけた落の薹など、小さな春の兆しに嬉しさを隠せません。

先月は冬の間、減ってしまった農家さん回りが、少しずつ増えてきました。例えばアスパラバス収穫のお手伝い。ハウスの中にトンネルを作つて、地面には凍結防止の電熱線を通す箱入り娘ぶりのアスパラ。冬に出荷されるアスパラは、農家さんの愛情たっぷりの、ちょっと豪華な一品でした。

また春に向けて、リンゴの剪定作業のお手伝いもさせていただきました。まだ冷たい経ヶ岳おろしの吹く中、古い枝、病気になった枝を丁寧に抜いていきます。こうした一つ一つの地道な作業が、秋の豊かな実りにつながるのですね。

春からはこうした農家さんまわりがどんどん増えていきそうです。箕輪の野菜のこと、果物のこと。町の皆さんにとっての当たり前が、自分にとっては驚きの連続。この農家さん回りが、箕輪を理解する自分の下地。ここから農家さんとを直売所を結ぶ、農家さんと加工場を(地味な写真ばかりですが…

元気いっぱいのアスパラ

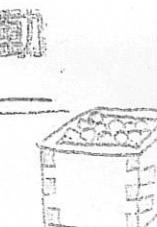


冬のリンゴの大木



冬の間ずっと出荷している畑のネ

2月 活動



寒さも少しずつ和らいで来て、ホッとしています。

雪が積って景色をキレイでしたが、自然と、早く春が来ないかねーと思う気持ちに嬉しくなっています。



2月の活動は…というと、とにかく加工工場で作業の日ございました。これからイベントでの年賀販賣を予定しているため、にこりにて人気のピクリスや五色大根あん漬などを漬けたり、1月末から始めた牧場でのフレッシュ販売しているごぼうドーナツや豆もちを作ったり…と商品作りを続けています。たくさんご苦労がったものが、バウチ(俄語)ですね、ラベルが貼られ、ズラーハと移到した時が、「できたー！」といつ感じて、楽しい瞬間です。

野菜の少ないこの季節ですが、加工工場で作る商品に、少しでも多く箕輪町産の農産物を使用したりすることは、生産者さんにお声かけしたり、遙に情報を教えていたいたりして、保管してあった野菜を納品していくだけをことを嬉しく思っています。引き続き、ご協力を頼り致します。



毎年、自分で糸口和噌を作っています。箕輪に住んで年々、

今年は大豆も、ひよじに芋もお米も、箕輪の生産者さんのもので揃えてみました。今からひよじを作っています。熟してお米がひよじの花をいい方につけた香りが部屋中に広がっています。自己流で自分で育ててもらったり、町の方からそちらへヒントをいたしましたながら、制作を楽しんでいます。